

Ⅱ 入学試験の内容

一般入試(T日程・英語外部試験利用入試・A方式)

解答方式について

(1) 各試験日程での試験問題の共通・独自の別と、解答方式(マーク・記述の別)は以下のとおりです(脚注も参照してください)。なお「マークおよび記述」としている場合は、マークのみになることがあります。

試験日	試験方式	学部	科目	英語	国語	地理	数学	小論文
2月5日 (月)	T日程	全学部		全問共通 全マーク		記述		記述
	英語外部試験利用入試	法学部法律学科 法学部国際政治学科 経済学部国際経済学科 人間環境学部 現代福祉学部 GIS(グローバル教養学部) スポーツ健康学部 情報科学部 ※理工学部 生命科学部			独自問題有*①② マークおよび記述		独自問題有* ①③⑦ 全マーク	

※機械工学科航空操縦学専修を除く

試験日	学部・試験方式	科目	英語	国語	政治・経済	日本史	世界史	地理	数学
2月7日 (水)	文学部A方式Ⅰ日程 経営学部A方式Ⅰ日程 人間環境学部A方式		独自問題有*④ 全マーク	独自問題有*⑥ マークおよび記述	全問共通 全マーク	全問共通 マークおよび記述	全問共通 マークおよび記述	全問共通 記述	全問共通 記述
	GIS (グローバル教養学部) A方式	学部独自 (英語S)*⑤	マークおよび記述						
2月8日 (木)	法学部A方式Ⅰ日程 文学部A方式Ⅱ日程 経営学部A方式Ⅱ日程		全問共通 全マーク	全問共通 マークおよび記述	全問共通 全マーク	全問共通 マークおよび記述	全問共通 マークおよび記述	全問共通 記述	全問共通 記述
2月9日 (金)	経済学部A方式Ⅰ日程 社会学部A方式Ⅰ日程 現代福祉学部A方式		全問共通 全マーク	全問共通 全マーク	全問共通 全マーク	全問共通 全マーク	全問共通 マークおよび記述	全問共通 記述	全問共通 記述
2月12日 (月)	経済学部A方式Ⅱ日程 社会学部A方式Ⅱ日程 スポーツ健康学部A方式		全問共通 全マーク	全問共通 全マーク	全問共通 全マーク	全問共通 全マーク	全問共通 マークおよび記述	全問共通 記述	全問共通 記述
2月16日 (金)	法学部A方式Ⅱ日程 国際文化学部A方式 キャリアデザイン学部A方式		全問共通 全マーク	全問共通 マークおよび記述	全問共通 全マーク	全問共通 マークおよび記述	全問共通 マークおよび記述	全問共通 記述	全問共通 記述

試験日	学部・試験方式	科目	英語	物理	化学	生物 (生命科学部のみ選択可)	数学
2月6日 (火)	情報科学部A方式		全マーク	全マーク			全マーク
2月11日 (日)	デザイン工学部A方式Ⅰ日程 理工学部A方式Ⅰ日程 生命科学部A方式Ⅰ日程		全問共通 全マーク	全問共通 記述	全問共通 記述	記述	独自問題有*① 全マーク
2月14日 (水)	デザイン工学部A方式Ⅱ日程 理工学部A方式Ⅱ日程 生命科学部A方式Ⅱ日程		全問共通 全マーク	全問共通 記述	全問共通 記述	記述	独自問題有*① 全マーク

- *① T日程と英語外部試験利用入試は同一の問題を出題します。
- *② 文学部日本文学科は、他学部と共通の現代文と、独自問題の古文・漢文の問題を出題します。
- *③ 理系学部の「数学」と、文系学部の「数学」は、全問別問題です。
- *④ 共通問題に加え、経営学部および人間環境学部独自の問題があります。
- *⑤ 文学部・経営学部・人間環境学部の「英語」とは全問別問題です。
- *⑥ 文学部・経営学部・人間環境学部・GISの共通問題(現代文・古文)に加え、文学部は漢文を、経営学部・人間環境学部・GISは現代文を出題します。
- *⑦ 理系数学については共通問題に加え、学部(学科)ごとに出题範囲に応じた問題を出題します。

	<p>(2) マーク解答方式は、鉛筆でマークしたものを機械が直接読み取って採点する方法です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆解答には必ずHBの黒鉛筆とプラスチック製消しゴムを使用してください。 ◆解答のマーク部分にシャープペンシルを使用した場合、マークしたものを機械が読み取れない場合があります。 ◆解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークしてください。 ◆解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。
選択科目の 選択方法	<p>複数科目の中から受験科目を1科目選択するものについては、試験当日の解答用紙配布の時に科目を選択します(一度選択した科目は変更できません)。</p>
試験科目に ついて	<p>2018年度一般入試は、平成21年3月に告示された高等学校学習指導要領に対応したものととなります。試験科目・出題範囲についてはP.8~15のとおりです。</p>
英語 について	<p>全試験において、リスニングによる出題は行いません。</p>
数学の 出題範囲 について	<p>■理系学部の「数学」 学部学科および試験方式によって出題範囲が異なります。同日の試験でも、出題範囲に応じて、解答する設問を学部学科別に指定します。</p> <p>■文系学部の「数学」 本学独自の一般入試(T日程入試・英語外部試験利用入試・A方式入試)における文系学部の数学出題範囲はすべて同じです。</p>
小論文 について	<p>■文学部[T日程]日本文学科</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本年度の課題図書は泉鏡花「高野聖・眉かくしの霊」(岩波文庫版)定価480円(税別)です。 問題は、課題図書の巻頭から巻末までを理解したうえの解釈・鑑賞に関わる出題をします。 ●試験時に参照できるのは、試験当日に試験会場にて大学から提供する課題図書のみとなります。持参した課題図書、メモ・しおり等は一切参照できません。 ●上記指定図書が書店で入手困難な場合は、岩波書店ブックオーダー係へお問い合わせください(電話 049-287-5721 FAX 049-287-5742)。

■英語外部試験利用入試（一般入試）について

本入試制度の概要	英語外部試験の基準（スコア）を満たしていることを出願条件とする入試です。T日程入試（2月5日）と同日・同問題で実施します。英語を除いた1科目入試です。なお英語を併せて受験すれば、T日程入試を併願することができます。
試験科目	1科目（文系学部は国語または数学、理系学部は数学）を受験します。英語の受験の必要はありません。
合否の判定について	合否は受験した1科目の成績で判断されます。提出した英語外部試験の成績による加点はありません。
併願について	英語外部試験利用入試内の併願は志望学部の指定する基準を満たしていれば、受験科目と出題範囲が同一の学部間での併願が可能です。 T日程入試との併願はT日程入試の英語を受験する必要があります。併願についての詳細はP.29～30をご確認ください。
英語外部試験の有効期限について	いずれも2016年2月以降に受験したもの（実用英語技能検定は2016年度第1回以降のもの*）に限り有効とします。 ※実用英語技能検定について、2級は一次試験・二次試験の両日とも2016年度第1回以降のものを有効としますが、1級および準1級は2015年度第1回以降に一次試験を合格した一次試験免除者（二次試験は必ず2016年度第1回以降）も可とします。
募集学部・英語外部試験の基準	下記表よりいずれか1つの英語外部試験が基準を満たしていれば出願は可能です。

学部・学科	実用英語技能検定 (4技能)	TOEFL iBT® (4技能)	IELTS (Academic Module) (4技能)	TOEIC®L&R*1 TOEIC®S&W (4技能)	TEAP (4技能)	GTEC CBT (4技能)	TOEFL®PBT (3技能)	TOEIC®L&R (2技能)
法学部法律学科・国際政治学科	準1級以上	62点以上	Overall band5.5以上	940点以上	280点以上	1120点以上	510点以上	—
経済学部国際経済学科	準1級以上	62点以上	Overall band5.5以上	940点以上	—	—	—	670点以上
人間環境学部	2級以上	52点以上	Overall band4.5以上	850点以上	250点以上	1050点以上	—	—
現代福祉学部	準1級以上	57点以上	Overall band5.5以上	850点以上	250点以上	1050点以上	500点以上*3	—
GIS(グローバル教養学部)	準1級以上	76点以上	Overall band6.0以上	1150点以上*2	—	—	—	—
スポーツ健康学部	2級以上	52点以上	Overall band4.5以上	850点以上	250点以上	1050点以上	—	—
情報科学部	2級以上	42点以上	Overall band4.0以上	790点以上	226点以上	1000点以上	—	—
理工学部*4	2級以上	42点以上	Overall band4.0以上	790点以上	226点以上	1000点以上	—	—
生命科学部	2級以上	52点以上	Overall band4.5以上	790点以上	226点以上	1000点以上	—	—

*1 TOEIC®L&RとS&Wの合計点を基準とします。

*2 GIS(グローバル教養学部)のTOEIC®L&RとTOEIC®S&Wは日本国内における受験結果に限ります。

*3 現代福祉学部のTOEFL®PBTはTOEFL iBT®未実施の国に限ります。

*4 理工学部機械工学科航空操縦学専修を除きます。

注) TOEFL ITP®(団体受験)、TOEIC®L&R団体特別受験制度・TOEIC®S&W団体特別受験制度、TEAP CBTは利用できません。

**スコアを証明
する書類の
提出について**

下表を参照しスコアを証明する書類を、出願書類と一緒に提出してください(TOEFL iBT®、TOEFL®PBTの Official Score Reports は大学へ直送したものに限りです)。スコアを証明する書類の発行・再発行・追加発行・直送には時間がかかる場合がありますので、お早めにご準備ください。

英語外部試験	提出書類	注意事項
実用英語技能検定 〈4技能〉	合格証明書(和文)の原本	出願期間内に他の出願書類と一緒に封筒に入れて提出してください。合格証明書(和文)の部分のみ切り取ってください。
TOEFL iBT® 〈4技能〉 TOEFL®PBT 〈3技能〉	Test Taker (Examinee) Score Reportのコピー または My Home Pageから ダウンロード(印刷)した Test Taker Score Report	出願期間内に他の出願書類と一緒に封筒に入れて提出してください。 なお、右上余白にOfficial Score Reportsの直送手続日を記入してください。
	Official Score Reports の原本	出願締切日までに法政大学へ到着したETSより大学へ直送されたOfficial Score Reportsのみ有効とします。送付先への到着は6~8週間かかるかとされています。出願締切日までに到着するように、十分余裕を持って、受験とOfficial Score Reportsの大学への直送手続を行ってください(出願期間より前に到着してもかまいません)。Institution Codeは0407、Department Codeは00です。
IELTS (Academic Module) 〈4技能〉	成績証明書 (Test Report Form)の原本	出願期間内に他の出願書類と一緒に封筒に入れて提出してください。成績証明書が提出できない場合は、追加発行の手続を行った上で、お手元の成績証明書のコピーを出願の封筒に同封してください(追加発行したものは出願期間より前に到着してもかまいません)。追加発行の送付先の大学・部署名は、「Hosei University Admissions Center」、住所は「2-17-1 Fujimi, Chiyoda-ku, Tokyo 102-8160, Japan」としてください。
TOEIC®L&R および TOEIC®S&W 〈4技能〉	TOEIC®L&Rの公式認定証 (Official Score Certificate) および TOEIC®S&Wの公式認定証 (Official Score Certificate) の原本	出願期間内に他の出願書類と一緒に封筒に入れて提出してください。TOEIC®L&Rのスコアのみで出願基準を超えていても、TOEIC®S&Wのスコアの提出が必要です。TOEIC®Speaking Test (Speakingの試験のみ)の結果を提出することはできません。 ※ 経済学部国際経済学科は4技能の基準とは別に、TOEIC®L&Rのスコアのみで出願基準も設けています。その基準を満たして出願する場合は、TOEIC®L&Rの公式認定証(Official Score Certificate)の原本を提出してください。
TEAP 〈4技能〉	同試験日の4技能の総合点が 出願基準を満たしている 成績表の原本	出願期間内に他の出願書類と一緒に封筒に入れて提出してください。ただし複数の成績表(受験日が異なる各技能の最高点を組み合わせること)を提出することはできません。
GTEC CBT 〈4技能〉	Score Reportの原本	出願期間内に他の必要書類と一緒に封筒に入れて提出してください。

※4技能スコア(TOEFL®PBTは3技能)がすべて1枚の証明書に記載されているものを有効とします。

ただしTOEICについてはTOEIC®L&R・TOEIC®S&Wそれぞれの公式認定証の提出が必要です(経済学部国際経済学科でTOEIC®L&Rスコアのみで出願する場合は、TOEIC®L&Rの公式認定証を提出してください)。

※原本と指定しているものは必ず原本を提出してください。返却はできません。

※スコアを証明する書類の発行・再発行・追加発行・直送には時間を要する場合がありますので、本学への出願に間に合うように、十分余裕を持って受験と手続を行ってください。

※併願する場合は、併願するすべての学部の基準を満たすことを証明できるのであれば、1通のスコアを証明する書類の提出で出願できます。

※試験の実施日程・スコアを証明する書類の発行・再発行・追加発行・直送等については、各試験実施団体へお問い合わせください。

「大学入試センター試験」利用入試

「大学入試センター試験」 利用入試 について

- (1)「大学入試センター試験」利用入試では、「大学入試センター試験」の成績(得点)を合否判定に用います。**大学独自の個別学力試験は課しません。**
合否判定に必要な受験科目が不足している場合は合否判定の対象になりません。
- (2)「大学入試センター試験」利用入試には、「B方式」と「C方式」の2つの方式があります。「B方式」と「C方式」では、試験科目が異なりますので、P.16~23の「試験科目・配点」で確認してください。
- (3)「大学入試センター試験」利用入試は、同じ方式の中では、**同一学部内で複数学科の出願(併願)はできません。**詳細はP.29を参照してください。
- (4)「大学入試センター試験」の追試験・再試験や「英語」リスニングテストの再開テストを受けた場合も、他の受験生と同様に合否判定を行います。
- (5)前年度(平成29年度)以前の「大学入試センター試験」の成績は利用できません。
- (6)「外国語」のうち「英語」は、全ての学部・学科で**「リスニングテスト」を必須とします。**「リスニングテスト」を受験しなかった場合は「英語」は欠席扱いとなり、合否判定の対象になりません。
ただし、聴覚に障がいのある方などで、あらかじめ「大学入試センター試験」受験において特別な措置が認められている場合は、大学入試センターの措置に従った得点換算で合否判定をします。
なお「英語」は「リスニングテスト」を含めると250点満点になりますが、他の「外国語」(200点満点)に合わせて得点を換算します。その上で各学部・学科で定められた配点に応じて換算します(GIS(グローバル教養学部)・B方式を除く)。
- (7)「**地理歴史**」・「**公民**」および「**理科②**」で2科目受験した場合は、**第1解答科目を合否判定に使用します**(第2解答科目は、合否判定の対象外です)。

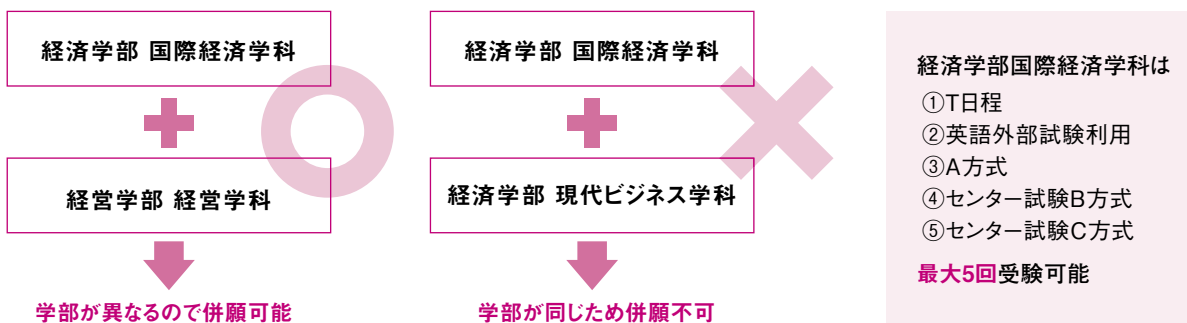
併願について

■ 同一方式・同一試験日の併願について

試験方式	併願に関する説明
T日程入試 (統一日程)	受験科目と出題範囲が同一の学部間での併願が可能です。ただし、同一学部内の学科を併願することはできません。
英語外部試験 利用入試	志望学部の指定する英語外部試験の基準(P.26)を満たしていれば、受験科目と出題範囲が同一の学部間での併願が可能です。ただし、同一学部内の学科を併願することはできません。
A方式入試 (個別日程)	同一試験日に出願できるのは1つの学部学科のみです。試験日が異なる場合は、同一学部であっても併願することが可能です。 <div style="border: 1px solid #f08080; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>例) 法学部を受験する場合 法律学科と政治学科は試験日が同じ2月16日(II日程)のため併願ができません。しかし、国際政治学科は2月8日(I日程)で試験日が異なるため、法律学科と政治学科のどちらか1学科と併願することが可能です。</p> </div>
大学入試センター 試験利用入試 B方式	B方式の中では、同一学部内の学科を併願することはできませんが、学部が異なれば併願することができます。*
大学入試センター 試験利用入試 C方式	C方式の中では、同一学部内の学科を併願することはできませんが、学部が異なれば併願することができます。*

※理工学部機械工学科航空操縦学専修の一般入試は、第一次選考として大学入試センター試験を利用しますが、大学入試センター試験利用入試B方式・C方式とは異なりますので、理工学部の各学科・専修の大学入試センター試験利用入試B方式・C方式と併願することができます。

例) 同一学部内の学科の併願(A方式入試以外)の例: 経済学部国際経済学科を受験する場合



学部学科 \ 方式	T日程	英語外部試験利用	A方式	センター試験B方式	センター試験C方式
経済学部 国際経済学科	○ 2月5日	○ 2月5日	○ 2月9日	○	○

T日程・英語外部試験利用・A方式の併願が可能

センター試験B方式とC方式の併願が可能

■「T日程入試」「英語外部試験利用入試」(2月5日実施)の併願について

〈科目パターン表〉

○はT日程入試を実施している学部・学科です。

◎はT日程入試と英語外部試験利用入試の両方を実施している学部・学科です。

科目パターン	受験科目 [1時限目]	受験科目 [2時限目]	受験可能学部(併願可能な学部)																			
			法学部		文学部			経済学部		社会学部	経営学部	国際文化学部	人間環境学部	現代福祉学部	キャリアデザイン学部	GIS	スポーツ健康学部	情報科学部	デザイン工学部		理工学部*	生命科学部
			法律学科	国際政治学科	哲学・文学	史学・心理学	日本文学科	地理学科	経済学科	現代ビジネス学科	国際経済学科									建築学科	都市環境デザイン学科	システムデザイン学科
A	国語または数学① [数学I・II、数学A・B]	英語	法律・国政:◎ 政治:○	○	×	×	×	国際経済:◎ 経済・現ビ:○	○	○	○	◎	◎	○	◎	◎	×	×	×	×	×	
B	国語	小論文	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
C	地理	英語	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
D	数学② [数学I・II・III、数学A・B]	英語	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	○	×	◎	×	
E	数学② [数学I・II、数学A・B]	英語	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	◎	

※理工学部機械工学科航空操縦学専修を除く。

〈「T日程入試」の併願〉

〈科目パターン表〉のうち、受験科目が同じ科目パターンの場合、併願が可能です。ただし同一学部内の学科を併願することはできません。

・文系学部は、科目パターンが、すべてAであるため、全学部の併願が可能です(文学部日本文学科と地理学科を除く)。

・理系学部は、数学の出題範囲が同じ科目パターンの学部学科で併願が可能です。

〈「英語外部試験利用入試」の併願〉

志望する学部が指定する英語外部試験の基準(P.26)を満たし、受験科目が同じパターンの場合、併願が可能です。

ただし同一学部内の学科を併願することはできません。受験科目は1時限目の1科目のみです。

例) 実用英語技能検定2級で文系学部を志望する場合

英語外部試験の基準	法学部 法律学科 国際政治学科	経済学部 国際経済学科	人間環境学部	現代福祉学部	GIS (グローバル教養学部)	スポーツ健康学部	情報科学部	理工学部	生命科学部
実用英語技能検定	準1級	準1級	2級	準1級	準1級	2級	2級	2級	2級

〈科目パターン〉Aの

人間環境学部、スポーツ健康学部の併願が可能

※英語外部試験の基準を満たしても、科目パターンがDやEの、情報科学部、理工学部、生命科学部は併願できません。

〈「T日程入試」と「英語外部試験利用入試」の併願〉

「T日程入試」と「英語外部試験利用入試」は同日(2月5日)試験日で、併願することができます。

志望する学部が指定する英語外部試験の基準(P.26)を満たし、受験科目が同じパターンの場合、併願が可能です。

T日程入試と英語外部試験利用入試で同一の学部学科を併願することもできます。この場合、1時限目と2時限目(英語)の両方の科目を受験する必要があります。

例) 実用英語技能検定準1級で法学部国際政治学科、経済学部国際経済学科、GIS(グローバル教養学部)、国際文化学部を志望する場合

英語外部試験利用入試

指定された基準を満たしているため
「法学部国際政治学科」「経済学部国際経済学科」と
「GIS」を併願



T日程入試

〈科目パターン〉Aである
「法学部国際政治学科」「経済学部国際経済学科」
「GIS」「国際文化学部」を併願